



あのこの愛媛移住フェア

なくされる。しかしながら、コロナ禍による都会からの移住ニーズはむしろ高まっている状況であったため、電話やメール以外で移住相談ができる機会を模索し、完全オンラインでの移住フェアを検討することとなった。

移住スカウトサービス「SMOUT」を運営する株式会社カヤックの協力のもと、急ピッチで準備を進め、令和2年6月に完全オンライン移住フェア「愛あるえひめ暮らしフェア～オンラインで「えひめ」とつながる～」を開催した。ビデオ通話アプリ「zoom」を活用した予約制の市町及び関係団体の個別相談会や、移住者講演や市町紹介の動画配信など、参加者が自宅にいながらも移住相談や移住の情報をキャッチできる機会を作ることができた。自治体単独での完全オンライン移住イベントとしては全国的にも先駆けた取組みであり、各メディアでも取り上げていただくことができた。令和3年度には「えひめオンライン移住フェア」と名称を変え、引き続き、定期的に開催している。



「えひめオンライン移住フェア」特設サイト

4 移住体験ツアーの実施

平成29年度より、愛媛県での暮らしを体感してもらう「えひめ暮らし魅力体感ツアー」を実施した。東予・中予・南予それぞれ3つの各エリアで1週間滞在し、生活インフラの視察、食の体験、地域住民との交流など、移住を本格的に検討している方をターゲットにしたツアーを実施した。各エリア10名ほどの参加者が集まったが、ツアー参加者から実際に移住された方や地域おこし協力隊として着任した方も多く、愛媛県への移住を加速させる大きな事業となった。一方で、1週間という長期ツアーであるがゆえ、参加者に偏りがあったり、観光の色合いが強くなってしまったりと課題も多く残った。その後、一次産業や地元企業など仕事体験プログラムに参加してもらう「えひめ暮らし仕事体験事業」という事業が「えひめ暮らし魅力体感ツアー」の後継を担うこととなる。



えひめ暮らし魅力体感ツアー

5 地域おこし協力隊の支援

既に着任している愛媛県内の地域おこし協力隊を対象にした「えひめ地域おこし協力隊・自治体担当職員交流研修会」を毎年開催している。先輩協力隊や現役の協力隊の事例発表や地域での活動について学ぶワークショップなど、定住に向けた様々なプログラムを行っている。令和3年度には、この研修のほかに、協力隊任期中の活動をロードマップ化する「活動プランニング研修」や、地域に根付いた起業に向けたノウハウを学ぶ